



パワーアンプ

XLS DriveCore™ 2 Series

XLS1002, XLS1502, XLS2002, XLS2502

取扱説明書

Version 1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

安全上の重要事項



感電の恐れがあります。



操作やメンテナンスに必要な記述があります。

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中に入れてください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
5. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
6. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
7. 安全のため、必ず付属の電源コードをご使用ください。
8. 電源コードは踏まれたり、挟まれる事の無いようにしてください。
9. 電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
10. 製品受領時に外部に損傷（電源コード等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージが有った場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れが有ります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合が有ります。
11. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
12. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
13. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
14. 電源コードのプラグは抜き差し可能で、差し込むだけで使用できます。
15. 地域の法律に沿ってご使用ください。
16. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

メンテナンスと修理

本製品は最新の電子技術と素材を使用しているため、それに応じたメンテナンスと修理を行う必要があります。機材へのダメージ、使用者へのケガを防ぐためにメンテナンス/修理はCROWNの代理店にて行ってください。

目次

安全上の重要事項.....	2
メンテナンスと修理.....	3
はじめに.....	5
主な特長.....	5
仕様.....	5
各部の名称.....	6
背面パネル.....	8
接続.....	10
シグナル・プロセッシング・システム.....	12
システム構成例.....	13
システムメニュー.....	14

はじめに

この度は CROWN XLS DriveCore 2 シリーズをご購入いただき、誠にありがとうございます。
XLS DriveCore 2 シリーズは、最新 DSP を搭載した高音質、超軽量パワーアンプです。
本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この
取扱説明書を必ずお読みください。

主な特長

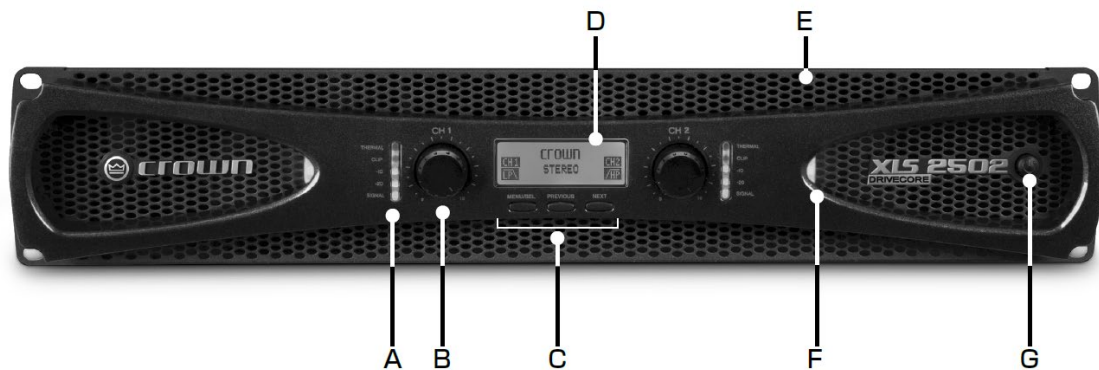
- 高性能、軽量、DriveCore テクノロジーを採用したクラス D アンプ
- XLR、フォン、RCA 入力
- DSP によるバンドパスフィルター設定可能
- コントロール可能なインジケータ ON/OFF、ディスプレイ・スリープ
- 入力感度 1.4V_{rm}/0.775V_{rms} 切り替え可能

仕様

	XLS1002	XLS1502	XLS2002	XLS2502
チャンネル数	2	2	2	2
ステレオ出力 (1kHz、THD 0.5%)	2Ω	550W+550W	775W+775W	1050W+1050W
	4Ω	350W+350W	525W+525W	650W+650W
	8Ω	215W+215W	300W+300W	375W+375W
ブリッジ出力 (1kHz、THD 0.5%)	4Ω	1100W	1550W	2100W
	8Ω	700W	1050W	1300W
入力インピーダンス 感度	20kΩ(バランス)、10kΩ(アンバランス) 0.775V _{rms} / 1.4V _{rm}			
周波数特性 (1W、20Hz~20kHz)	+0dB、-1dB			
S/N 比 (8Ω、A ウェイト) 入力感度 1.4V 設定時	>97dB 以上		>103dB 以上	
THD	<0.5%			
IMD (60Hz、7kHz@4:1)	<0.3%			
ダンピングファクター	>200			

(8Ω、10Hz～400Hz)				
クロストーク (定格 8Ω 以下)	>85dB@1kHz >55dB@20kHz			
電源	AC100V、50/60Hz			
消費電力(1/8 出力、 ピンクノイズ、2Ω)	180W	260W	350W	370W
寸法(W×H×D)	483×89×228mm		483×89×285mm	
質量	4.0kg		5.0kg	

各部の名称



A インジケータ

SIGNAL

入力信号が-40dB を超えると点灯 (緑 LED)

-20

出力信号がクリップ前-20dB を超えると点灯 (緑 LED)

-10

出力信号がクリップ前-10dB を超えると点灯 (緑 LED)

CLIP

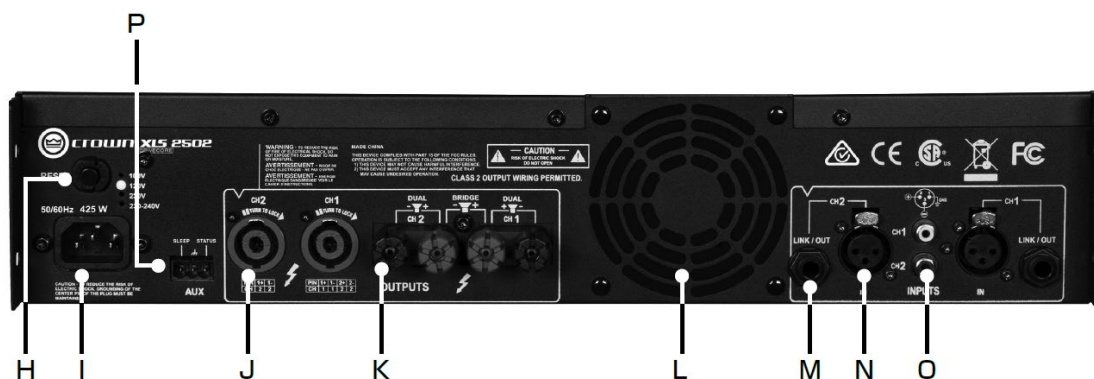
出力が過負荷になると点灯 (赤 LED)

THERMAL

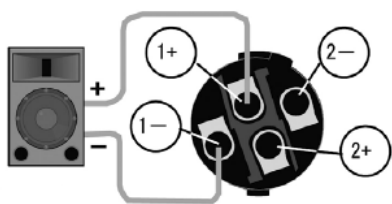
アンプが過熱状態になると点灯 (赤 LED)

- B ゲインコントロール
ゲインコントロールつまみです。
- C MENU/SEL/PREVIOUS/NEXT
LCD ディスプレイの各種メニュー項目設定に使用します。
- D LCD ディスプレイ
クロスオーバー設定、アンプモード設定、システム構成に使用します。
- E フロントグリル
冷却ファンの空気吸込口です。
- F 電源 LED
電源が ON の時、点灯します。スリープモードの時、点滅します。
- G 電源ボタン
アンプの電源を ON/OFF します。

背面パネル

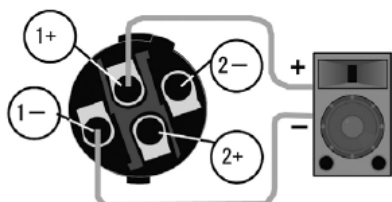


- H RESET ボタン
遮断したブレーカーをリセットします。
- I 電源コネクター
電源ケーブルを接続します。
- J 出力端子（ノイトリック製 NL4 スピコン端子）
スピーカーを接続します。CH1 はブリッジモード、ステレオモード、どちらでも使用可能です。
①CH1 と CH2 の両方のスピコンを使用する。
チャンネル 1



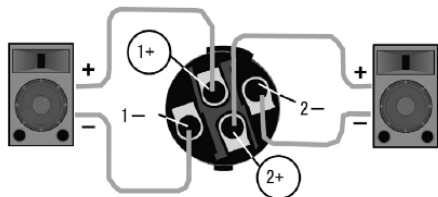
チャンネル	1	
極性	+	-
スピコンのピン番号	1+	1-

チャンネル 2



チャンネル	2	
極性	+	-
スピコンのピン番号	1+	1-

②チャンネル1のスピコンのみを使用する。



チャンネル	1		2	
極性	+	-	+	-
スピコンのピン番号	1+	1-	2+	2-

- K** 出力端子2 (バインディング・ポスト出力端子)
 スピーカーを接続します。バナナプラグやバラ線を接続することができます。スピコンと並列になっています。
- L** 冷却ファン
 本体を冷却します。
- M** 入力端子1 (チャンネル毎1系統)
 信号入力用フォン端子です。他のアンプへループする為の **LINK/OUT** 端子としても使用可能です。
- N** 入力端子2 (チャンネル毎1系統)
 信号入力用 **XLR** 端子です。
- O** 入力端子3 (チャンネル毎1系統)
 信号入力用 **RCA** 端子です。
- P** **AUX** 端子
 ピン1と2を外部接点から接続して、アンプを **Sleep** モードに切り替えます。ピン3はアンプ・ステータス (正常/異常) の信号を出力します。

接続

ステレオモード（初期設定）

通常のスtereo・パワーアンプとして使用するためのモードです。必要に応じてクロスオーバーの設定を行ってください。



17. ミキサーの L/R 信号をチャンネル 1 とチャンネル 2 に接続します。
18. スピコンやバインディング・ポスト端子を使用して、各チャンネルにスピーカーを接続します。

ブリッジモード

ブリッジ接続して1台のスピーカーをドライブするモードです。



接続方法

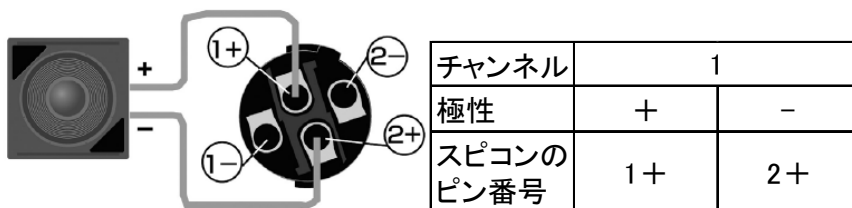
1. 音源をチャンネル1に接続してください。
2. スピーカーとの接続

バインディング・ポスト端子

スピーカーの (+) とチャンネル1の (+)、スピーカーの (-) とチャンネル2の (+) を接続します。

スピコン (チャンネル1のみ使用)

スピーカーの (+) とスピコンのピン1 (+)、スピーカーの (-) とスピコンのピン2の (+) を接続し、アンプのチャンネル1スピコン端子に接続します。



ブリッジモード設定

1. LCD画面にMAIN MENUが表示されるまでMENU/SELボタンを長押しします。
2. AMP MODEを選択し、MENU/SELボタンを押して決定します。
3. BRIDGEを選択し、MENU/SELボタンを押してモードを決定します。
4. 画面がMAIN MENUに戻ります。

INPUT-Y モード

入力チャンネル 1 の信号を 2 つのアンプ出力 (CH1、CH2) に分岐します。また、2way スピーカーをバイ・アンプ駆動する場合にも使用できます。出力チャンネル 1 にローパスフィルター、出力チャンネル 2 にハイパスフィルターを通し、クロスオーバーを設定します。

接続方法

1. 音源をチャンネル 1 に接続します。
2. スピコン、バインディング・ポスト端子を使用して、各チャンネルにスピーカーを接続します。

INPUT-Y モード設定方法

1. LCD 画面に MAIN MENU が表示されるまで MENU/SEL ボタンを長押しします。
2. AMP MODE を選択し、MENU/SEL ボタンを押して決定します。
3. INPUT-Y を選択し、MENU/SEL ボタンを押してモードを決定します。
4. 画面が MAIN MENU に戻ります。

シグナル・プロセッシング・システム

PureBand™ クロスオーバー・フィルターシステム

本製品には PureBand™ クロスオーバー・フィルターシステムが搭載されています。24dB/oct Linkwitz-Riley のフィルターを採用していて、30Hz～3kHz の間で 1/12oct ごとにクロスオーバーポイントを設定できます。Low Pass、High Pass、Band Pass の 3 種類のフィルタータイプを使用可能です。

Peakx™ Limiters

アンプとシステム全体に対して音質を低下させることなく、高い音圧レベルを保ち、同時にシステムを保護することができます。

システム構成例

モノラル・バイアンプ・システム



1. 本製品を INPUT-Y システムに設定し、ウーファーをチャンネル 1、2way スピーカーをチャンネル 2 に接続します。
2. チャンネル 1 にローパスフィルターをセットして、クロスオーバー周波数をカットオフ周波数として使用します。
3. チャンネル 2 にハイパスフィルターをセットして、ローパスフィルターと同じクロスオーバー周波数をカットオフ周波数として使用します。

ステレオ・バイアンプシステム



本製品を 2 台使用して「2.1 チャンネル」シアターシステムを構築することができます。

1 台目のアンプ

音源 (L/R) を入力端子に接続し、ステレオモードに設定します。

2 台目のアンプ

音源を入力端子に接続し、ブリッジモードに設定します。次にローパスフィルターとカットオフ周波数を設定します。

システムメニュー

MAIN MENU	AMP MODE
	CROSSOVER
	INPUT SENSITIVITY
	SYSTEM
	EXIT

MAIN MENU

MENU/SEL ボタンを長押しすると MAIN MENU に入ります。PREVIOUS、NEXT ボタンを使用してサブメニューを選択し、MENU/SEL ボタンを押して確定します。EXIT を選択すると初期画面に戻ります。

AMP MODE	STEREO
	BRIDGE
	INPUT-Y
	BACK

AMP MODE

STEREO

通常のステレオ・パワーアンプとして使用するためのモードです。

BRIDGE

ブリッジ接続して 1 台のスピーカーをドライブするモードです。

INPUT-Y

入力チャンネル 1 の信号を 2 つのアンプ出力 (CH1、CH2) に分岐するモードです。

CROSSOVER

アンプ出力に加えるフィルター・タイプと周波数を設定します。STEREO、または INPUT-Y モードのときは、始めにチャンネルを選択してからクロスオーバー設定を行います。

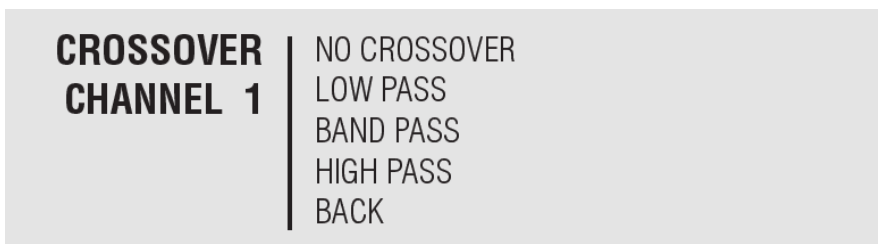
BRIDGE モードのときは、チャンネル設定がスキップされます。

CROSSOVER STEREO	CHANNEL 1
	CHANNEL 2
	BACK

ブリッジモード

CROSSOVER メニューでチャンネルを選択するか、または **AMP MODE** でブリッジモードを選択すると、使用可能なフィルター・タイプ (**LOW PASS**、**BAND PASS**、**HIGH PASS**、**NO CROSSOVER**) が表示されます。フィルター・タイプを選択すると、カットオフ周波数が表示され、任意の周波数を選択することができます。

※**BAND PASS** を選択するとローカット周波数とハイカット周波数が表示されます。



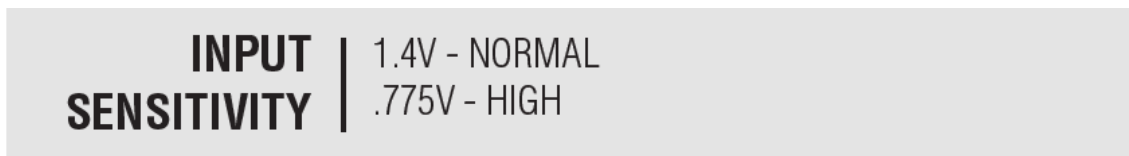
INPUT SENSITIVITY

1.4V-NORMAL

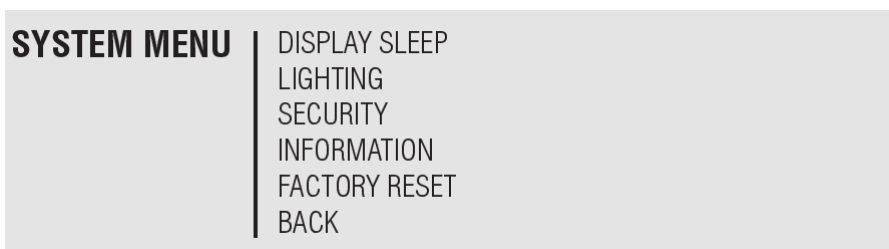
通常はこの設定を使用します。

.775-HIGH

もともとレベルの小さい音源をフルパワーで再生するときに使用します。



SYSTEM



DISPLAY SLEEP

一定時間ボタン操作がなかった場合、スリープモードになりディスプレイが消灯します。経過時間は 30 秒、1 分、2 分、5 分から選択することができます。OFF を選択するとディスプレイは消灯しません。どれかボタンを押すとディスプレイは復帰します。

LIGHTING

電源 LED（青）とシグナルレベル LED（緑）を ON/OFF することができます。

THERMAL と CLIP は OFF にすることはできません。

SECURITY

アンプの設定を保護するためにメニューボタンをロックすることができます。SECURITY を選択してから NEXT ボタンを押し、ボタンロックを ENABLE にします。PREVIOUS ボタンと NEXT ボタンを同時に押してボタンをロックをします。1 度ロックすると、アンプの電源を OFF にして再び ON にしてもロックの状態は保持されます。解除するには、もう一度 PREVIOUS ボタンと NEXT ボタンを同時に押します。

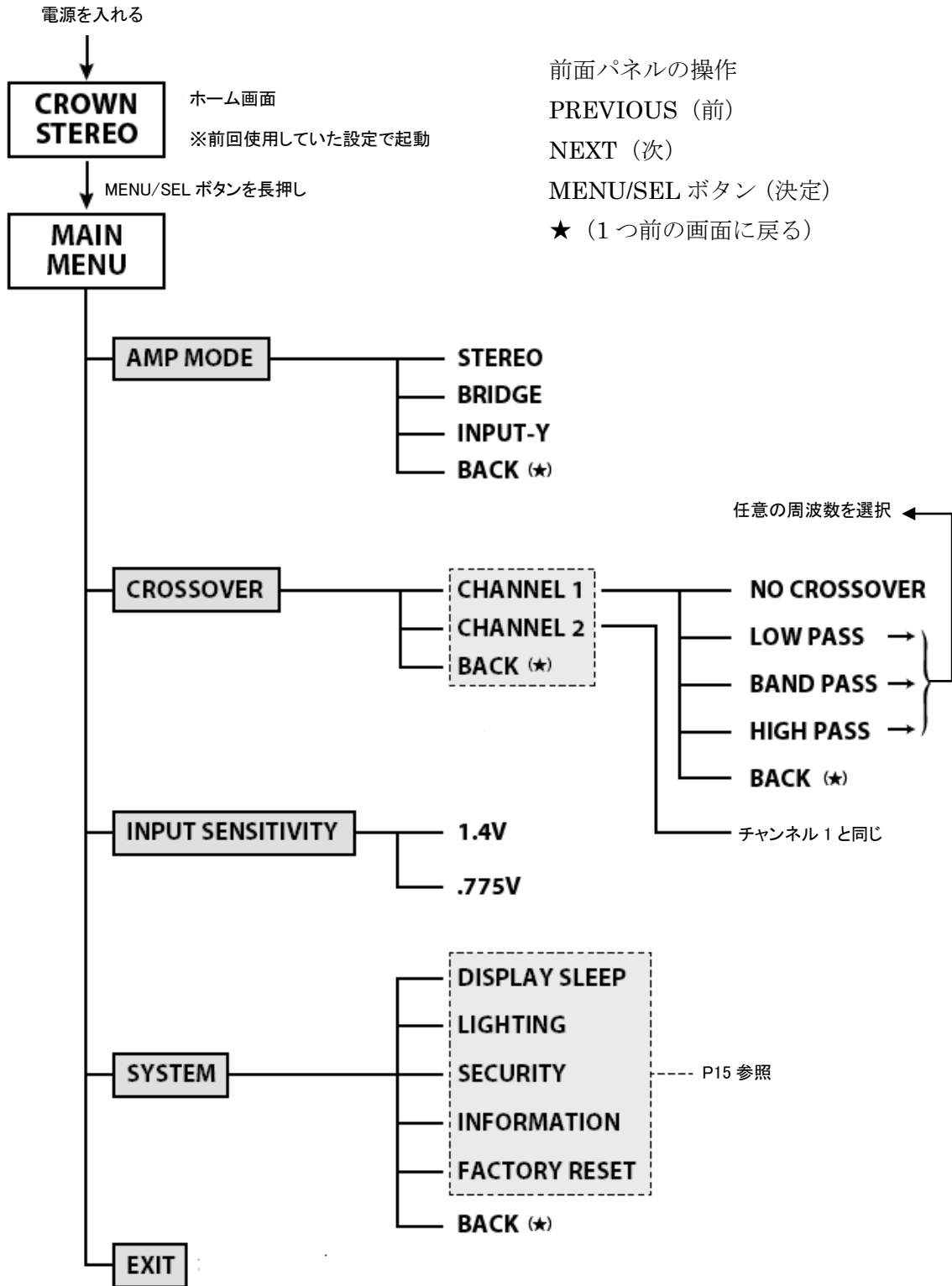
INFORMATION

アンプの情報（モデル番号、内部温度、電圧、ファームウェア・バージョン）を表示します。

FACTORY RESET

システムを工場出荷時の状態に戻します。FACTORY RESET を選び、YES を選択すると、確認画面が表示されます。再度 YES を押すとすべての設定データが消去され、工場出荷時の状態にリセットされます。

メニュー・ナビゲーション





※この取扱説明書に記載されている商品名、会社名などは、その会社の商標登録です。
また、掲載されている図、写真などの著作権はその会社にあります。